

第十五師団騎兵第十五連隊

陸軍少佐

大 谷 虎 熊

年 月 日

昭五  
八  
二

義通寺師團騎兵第一一連隊留守隊より、軍備改編により、騎兵第十五連隊を編成す。

臨機第三十。一号編成大令

編成完結

三

拔出港出港第二中隊のみは、南海支隊に属せられ「ニエーガニア」に向い出港す。

仏領印度支那安南省「カムラン」灣に上陸

泰仏印國境通過

す

緬甸進入

南緬甸「モルメン」攻略、戦中「ムドン」灰び「モルメン」浦入口附近

の战斗に於て、将校二名、下士官以下一八名戦死、約一一名負傷入院。

「シッタン」洞に向い追撃戦に参加

「ペガー」攻略戦に参加

「トング」攻略戦中「タンタビン」ダゴ「トング」附近の战斗に於て、下

(431)

0441

年月日

十一

士官兵七名，戰死負傷入院六名。

イビンマナ 攻略戦に参加

「マンダレー」に向い進撃並びに勘定作戦に參加  
イマンダレー附近の掃蕩並に警備

マシタレー 北田。料 マダヤ 附近の整備

タマレ出發

部隊長以下所要の指揮機関のみ空路「アキヤマ」に先行所在部隊を指揮し、

アキセ下」附近の防衛に任亦

三一号作戦時、依然 アキヤダ一附近の防衛に任本

「アキヤト」要域の防衛強化中敵機の爆撃に依り、特攻二名、下士官六名、

樂死，持板一  
下小官兵

易作戦中、カニダーン附近の戦斗に於て、將校一名、兵士三名戰死、負傷者

附近の戦斗に於て、不士官兵

下士官兵五名戰死，掛枝二  
下士官兵約六名負傷入院

九  
九  
九  
九  
九

年月日

概

要

昭和  
二  
五  
元  
四

ラン  
戦死約九名、負傷入院  
将校三名下士官兵四名、負傷入院  
の戦斗に於て、下士官兵九名、戦死約一三名、負傷入院、生死不明兵一、  
手に入りたる疑あり  
の戦斗に於て、下士官兵一八名戦死、約一三名負傷入院  
サトウエイ  
サトウエイ附近の戦斗に於て、将校一、下士官兵二〇名戦死、約七名負傷  
入院  
カラマ  
カラマ附近の戦斗に於て、将校二名、下士官兵約一八名戦死、将校一  
不セ官兵約一四名、負傷入院、生死不明兵一名、  
タラマ  
タラマ附近の戦斗に於て、生死不明へ敵手に入りたる疑あり、  
タラマ  
タラマ附近の戦斗に於て、生死不明へ敵手に入りたる疑あり  
タラマ  
タラマ附近に於て、生死不明兵二(敵手に入りたる疑あり)  
タラマ  
タラマ附近に於て、同地附近の防衛  
アランメウ  
アランメウに転進、同地附近の防衛

(4433)

0443

年月日

概要

0444

昭和八年九月二十八日	盤谷が先作戦中、ミンドン、タエトメラ、附近の戦斗に於て、下士官兵一十五名戦死、約二名、負傷入院。トントンゲー、サトウ附近の戦斗に於て、下士官兵一一名戦死、約一五名、負傷入院、生死不明。下士官兵田名へ一部敵手に入りたる疑あり。アランメウ、ベッテキクリーク、ナンズビニ、イペレワ附近の戦斗に於て、下士官兵一名戦死、約四名負傷入院す。生死不明兵三へ敵手に入りたる疑なし。イガローム附近の戦斗に於て、下士官兵二名戦死、生死不明下士官兵一へ敵手に入りたる疑なし。イタンビサン、方二〇料、ビーワイン、部落附近の戦斗に於て、戦死兵二名、一名負傷入院。ペタリ、山脈、シッタン、平地横断戦斗中將校三（部隊長を含む）下士官兵六名戦死、約六名、負傷入院、生死不明。將校一、下士官兵七名、一三九、一大部敵手に入りたる疑あり。師團主力は同行中れ三中隊のイピンマナ、イキン辺、西方面四〇料、イコンボンボンチャム、イナノンペン、東北方九〇料に集結。
------------	---

年	月	日	概要
二	元	二	警備の隊、主力を以てイヨンボンチャム東方八〇糠(イミモト)に又一部を以て同地東北方五〇糠(イスノール)及び北方一〇〇糠(イクラチエ)に集結、
		二	「金辺(南)一五糠(イタクマウ)」に集結、
		三	「バリア」東南方ニ五糠(イフオックハイ)に集結す
		四	第三中隊の主力は、南海支隊に屬し、「ニユーザニア」に於ける作戦中、將校三名、下士官兵約七四名、戦死す。
		五	「タクマウ」に集結中、師団の「ハッケン」附近に於ける作戦に参加し、ある第ニ中隊に連絡の為派遣する将校一名戦死す。
		六	歴代部隊長行
		七	陸軍大佐 川嶋昌蔵
		八	少佐 木村泰雄(二〇、七、三 戦死)
		九	少佐 大谷虎熊
		十	山田徳雄
		十一	山口県宇部郡仁保村大字仁保中郷二三三六
		十二	茨城県那珂郡五臺村大字西洞内八六
		十三	大尉 山本増雄
		十四	大尉 大庭
		十五	少佐 佐藤
		十六	少佐 佐藤
		十七	少佐 佐藤
		十八	少佐 佐藤
		十九	少佐 佐藤
		二十	少佐 佐藤
		二十一	少佐 佐藤
		二十二	少佐 佐藤
		二十三	少佐 佐藤
		二十四	少佐 佐藤
		二十五	少佐 佐藤
		二十六	少佐 佐藤
		二十七	少佐 佐藤
		二十八	少佐 佐藤
		二十九	少佐 佐藤
		三十	少佐 佐藤
		三十一	少佐 佐藤
		三十二	少佐 佐藤
		三十三	少佐 佐藤
		三十四	少佐 佐藤
		三十五	少佐 佐藤
		三十六	少佐 佐藤
		三十七	少佐 佐藤
		三十八	少佐 佐藤
		三十九	少佐 佐藤
		四十	少佐 佐藤
		四十一	少佐 佐藤
		四十二	少佐 佐藤
		四十三	少佐 佐藤
		四十四	少佐 佐藤
		四十五	少佐 佐藤
		四十六	少佐 佐藤
		四十七	少佐 佐藤
		四十八	少佐 佐藤
		四十九	少佐 佐藤
		五十	少佐 佐藤
		五十一	少佐 佐藤
		五十二	少佐 佐藤
		五十三	少佐 佐藤
		五十四	少佐 佐藤
		五十五	少佐 佐藤
		五十六	少佐 佐藤
		五十七	少佐 佐藤
		五十八	少佐 佐藤
		五十九	少佐 佐藤
		六十	少佐 佐藤
		六十一	少佐 佐藤
		六十二	少佐 佐藤
		六十三	少佐 佐藤
		六十四	少佐 佐藤
		六十五	少佐 佐藤
		六十六	少佐 佐藤
		六十七	少佐 佐藤
		六十八	少佐 佐藤
		六十九	少佐 佐藤
		七十	少佐 佐藤
		七十一	少佐 佐藤
		七十二	少佐 佐藤
		七十三	少佐 佐藤
		七十四	少佐 佐藤
		七十五	少佐 佐藤
		七十六	少佐 佐藤
		七十七	少佐 佐藤
		七十八	少佐 佐藤
		七十九	少佐 佐藤
		八十	少佐 佐藤
		八十一	少佐 佐藤
		八十二	少佐 佐藤
		八十三	少佐 佐藤
		八十四	少佐 佐藤
		八十五	少佐 佐藤
		八十六	少佐 佐藤
		八十七	少佐 佐藤
		八十八	少佐 佐藤
		八十九	少佐 佐藤
		九十	少佐 佐藤
		九十一	少佐 佐藤
		九十二	少佐 佐藤
		九十三	少佐 佐藤
		九十四	少佐 佐藤
		九十五	少佐 佐藤
		九十六	少佐 佐藤
		九十七	少佐 佐藤
		九十八	少佐 佐藤
		九十九	少佐 佐藤
		一百	少佐 佐藤
		一百零一	少佐 佐藤
		一百零二	少佐 佐藤
		一百零三	少佐 佐藤
		一百零四	少佐 佐藤
		一百零五	少佐 佐藤
		一百零六	少佐 佐藤
		一百零七	少佐 佐藤
		一百零八	少佐 佐藤
		一百零九	少佐 佐藤
		一百一〇	少佐 佐藤
		一百一一	少佐 佐藤
		一百一二	少佐 佐藤
		一百一三	少佐 佐藤
		一百一四	少佐 佐藤
		一百一五	少佐 佐藤
		一百一六	少佐 佐藤
		一百一七	少佐 佐藤
		一百一八	少佐 佐藤
		一百一九	少佐 佐藤
		一百二〇	少佐 佐藤
		一百二一	少佐 佐藤
		一百二二	少佐 佐藤
		一百二三	少佐 佐藤
		一百二四	少佐 佐藤
		一百二五	少佐 佐藤
		一百二六	少佐 佐藤
		一百二七	少佐 佐藤
		一百二八	少佐 佐藤
		一百二九	少佐 佐藤
		一百三〇	少佐 佐藤
		一百三一	少佐 佐藤
		一百三二	少佐 佐藤
		一百三三	少佐 佐藤
		一百三四	少佐 佐藤
		一百三五	少佐 佐藤
		一百三六	少佐 佐藤
		一百三七	少佐 佐藤
		一百三八	少佐 佐藤
		一百三九	少佐 佐藤
		一百四〇	少佐 佐藤
		一百四一	少佐 佐藤
		一百四二	少佐 佐藤
		一百四三	少佐 佐藤
		一百四四	少佐 佐藤
		一百四五	少佐 佐藤
		一百四六	少佐 佐藤
		一百四七	少佐 佐藤
		一百四八	少佐 佐藤
		一百四九	少佐 佐藤
		一百五〇	少佐 佐藤
		一百五一	少佐 佐藤
		一百五二	少佐 佐藤
		一百五三	少佐 佐藤
		一百五四	少佐 佐藤
		一百五五	少佐 佐藤
		一百五六	少佐 佐藤
		一百五七	少佐 佐藤
		一百五八	少佐 佐藤
		一百五九	少佐 佐藤
		一百六〇	少佐 佐藤
		一百六一	少佐 佐藤
		一百六二	少佐 佐藤
		一百六三	少佐 佐藤
		一百六四	少佐 佐藤
		一百六五	少佐 佐藤
		一百六六	少佐 佐藤
		一百六七	少佐 佐藤
		一百六八	少佐 佐藤
		一百六九	少佐 佐藤
		一百七〇	少佐 佐藤
		一百七一	少佐 佐藤
		一百七二	少佐 佐藤
		一百七三	少佐 佐藤
		一百七四	少佐 佐藤
		一百七五	少佐 佐藤
		一百七六	少佐 佐藤
		一百七七	少佐 佐藤
		一百七八	少佐 佐藤
		一百七九	少佐 佐藤
		一百八〇	少佐 佐藤
		一百八一	少佐 佐藤
		一百八二	少佐 佐藤
		一百八三	少佐 佐藤
		一百八四	少佐 佐藤
		一百八五	少佐 佐藤
		一百八六	少佐 佐藤
		一百八七	少佐 佐藤
		一百八八	少佐 佐藤
		一百八九	少佐 佐藤
		一百九〇	少佐 佐藤
		一百九一	少佐 佐藤
		一百九二	少佐 佐藤
		一百九三	少佐 佐藤
		一百九四	少佐 佐藤
		一百九五	少佐 佐藤
		一百九六	少佐 佐藤
		一百九七	少佐 佐藤
		一百九八	少佐 佐藤
		一百九九	少佐 佐藤
		二〇〇〇	少佐 佐藤

4430

0445

年月日

概

要

徳島県美馬郡郡里町字妙恩 一四

大尉

遠山元康

媛媛保半村島中藤江 一五三五

大尉

中村在康

高知県香美郡夜須村出口四四二

大尉

高橋進

徳島県板野郡見能林村火字見能方字東石仏

医大尉

井上節齋

徳島県板野郡鹽園村德命 一六一

主大尉

奥村武夫

北海道函東郡音更村下音更北七線東一二

獸大尉

士井徳太郎

石川県小松市萬葉町 一二〇九番地

申尉

山田文泰

東京都渋谷区代々木深町 一六一三

少尉

眞嶋秀雄

媛媛保半村大字上居 一四

少尉

小田原務

年	月	日
明治	三十	一〇
福岡県朝倉郡朝倉村大字山田二一七五番地	准尉	藤本登
愛媛県西条市永見町字山口三一三三五	曹長	佐伯完己
永京郡中野区大和町八〇	曹長	筒井修
愛媛県西条市五胡村大字蟹沢三五四	野本時雄	
香川県三豊郡諸國町大字諒間	太藤操	
曹長		

(437)

0447